

製品名: CUL-1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab09531**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	90kDa

抗原情報

遺伝子名	CUL1
別名	CUL1; Cullin-1; CUL-1
遺伝子 ID	8454.0
SwissProt ID	Q13616
免疫原	抗血清はヒト Cullin 1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 727-776

背景

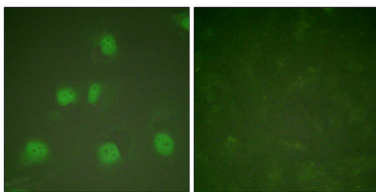
Cullin1 (CUL1) は、リングフィンガー型 E3 リガーゼの骨格タンパク質である Cullin ファミリータンパク質に属します。ヒトには、CUL1-3、CUL4A、CUL4B、CUL5、CUL7 の 7 つの Cullin タンパク質が存在します。Cullin1 は、酵母由来の Cdc53 の哺乳類ホ

モログです。CUL1は、p21 Waf1/Cip1、サイクリン D、I κ B α のユビキチン依存性分解を媒介することが示されています。各 Cullin タンパク質は、プロトタイプのリング型 E3 リガーゼである Skp1-CUL1-F-box 複合体に類似した E3 リガーゼを形成できます。Cullin-RING フィンガー型 E3 リガーゼは、マウスにおける CUL1、CUL3、または CUL4A のノックアウトが初期胚致死につながることを示す遺伝学的研究によって強調されているように、初期胚発生における重要な調節因子です。

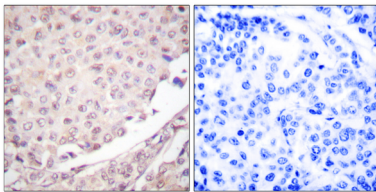
研究分野

Cell_Cycle_G1S;Cell_Cycle_G2M_DNA;卵母細胞減数分裂;ユビキチン媒介タンパク質分解;WNT;WNT-T CELLTGF-beta;

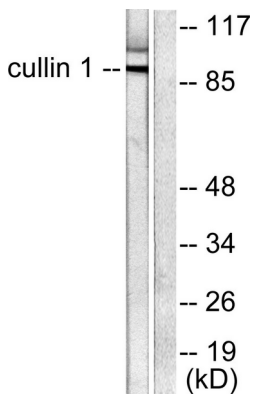
画像データ



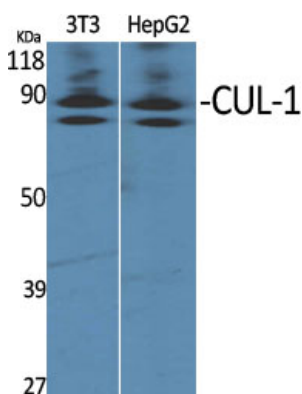
Cullin 1 抗体を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



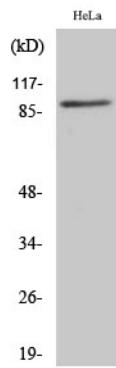
Cullin 1 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト肺癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



Cullin 1 抗体を用いた HeLa 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。



CUL-1 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析



CUL-1 ポリクローナル抗体を用いた HeLa 細胞のウェスタンブロット解析